

※①～⑥は松戸市総合計画の基本目標の項目

① 子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり 64億1千万円

- (1) 妊婦及び保育サービスを利用していない0歳児から2歳児がいる
家庭への支援の充実 10ページ
- (2) 給食費の負担軽減 14ページ
- (3) 3×3コートの整備、スケートボードパークの設計ほか、新たなニーズを踏まえた
スポーツ施設整備の方向性等を検討 17ページ

② 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり 2億4千万円

- (1) グリーンスローモビリティの導入地域を拡大 18ページ
- (2) 高齢者の生活を支援する体制の強化 19ページ
- (3) 医療的ケア児等の支援体制の充実 20ページ

③ 居心地の良い魅力的なまちづくり 23億1千万円

- (1) 新拠点ゾーンのまちづくり 21ページ
- (2) 新松戸駅東側地区のまちづくり 22ページ
- (3) 常盤平地域、北小金駅周辺のまちづくりを検討 23ページ

④ 地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり 2億4千万円

(1) 松戸駅を中心としたにぎわいを創出するイベント開催の拡大 24ページ

⑤ 安全で安心して暮らせるまちづくり 2億5千万円

(1) 子どもの見守り・安全安心の体制の強化 25ページ

⑥ 人と環境にやさしいまちづくり 2億9千万円

(1) 自治体SDGsモデル事業の実施 29ページ

(2) 市民と共に取り組む脱炭素社会に向けた取り組み 31ページ

⑦ 市制施行80周年記念関連 1億8千万円

(1) 市制施行80周年記念事業の開催 32ページ

(2) 科学と芸術の丘、松戸花火大会の開催、アートピクニック 33ページ

⑧ 新型コロナウイルス感染症対策 25億円

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種、PCR検査・抗原検査キット費用助成

34ページ

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

(1) 妊婦及び保育サービスを利用していない 0歳児から2歳児がいる家庭への支援の充実

(1) マイ・サポート・スペース事業 (会計別予算案：P29、30、32、33、54)

●予算額：820万1千円 (子育て支援課 ☎047-366-7347)

妊婦及び保育サービスを利用していない概ね0歳児から2歳児のいる家庭が身近に相談出来る場所である、地域子育て支援拠点(おやこDE広場、ほっとる一む、子育て支援センター)の認知度を高め、利用者と拠点とのつながりを作り、子育ての負担軽減と孤立の解消へとつなげる取組みを始めます。(11ページ参照)

(2) 子育て世帯訪問支援事業(まつドリbabyヘルパー)を創設 (会計別予算案：P57)

●予算額：4,895万5千円 (子ども家庭相談課 ☎047-308-7210)

虐待が重篤化するリスクの高い新生児期及び乳児期において、子育てに不安や負担を抱える妊婦・家庭が、周囲から孤立し虐待リスクが高まることを未然に防ぐために、ヘルパーが居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに家事育児を支援する取組みを始めます。(12ページ参照)

(3) 出産・子育て応援交付金事業 (会計別予算案：P62)

●予算額：3億2,083万2千円 (子ども家庭相談課母子保健担当室 ☎047-366-5180)

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体として実施します。(13ページ参照)

(1) マイ・サポート・スペース事業

誰かとしゃべりたい

遊び場がほしい

友だちがほしい

子育て情報が
知りたい

NEW マイ・サポート・スペース

妊婦及び概ね0～2歳児の保育サービスを利用していない家庭と拠点とのつながりを作り、子育ての負担軽減と周囲からの孤立を防ぐ取り組み。



地域子育て支援拠点を活用 計28施設

- ・おやこDE広場×13施設
- ・ほっとるーむ×7施設
- ・子育て支援センター×8施設



いつでも
何回でも
もっと気楽に
継続的に

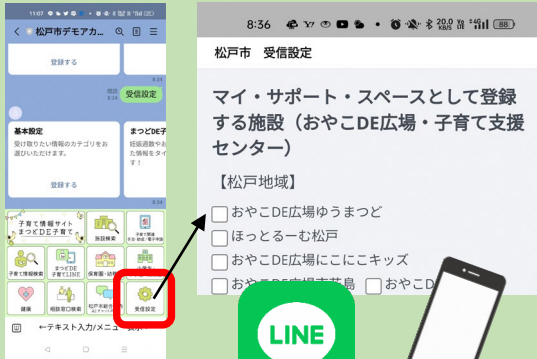
子育てコーディネーター常駐！

- ・子育てに関する相談や情報提供
- ・妊婦向け相談や情報提供
- ・イベントによる交流
- ・リラックスできる場所

子育ての負担軽減
・孤立解消へ

登録

登録した拠点のお便り定期配信



妊婦さんと
子育て家庭※

※概ね0～2歳児の保育サービスを利用していない家庭



プレゼントを配付！

妊婦



まつどりの
マタニティタグ+

家事育児支援
8時間無料券

保育サービスを利用して
いない0歳児がいる家庭



いずれか1つ選択

家事育児支援
2時間無料券



一時預かり
2時間無料券

おでかけマグ

(2) 子育て世帯訪問支援事業まつドリbabyヘルパー（仮称）を創設



●予算額：4,895万5千円

●対象 妊婦、保育サービス利用の無い2歳未満の児童がいる家庭
その他、特に支援が必要な児童がいる家庭

●支援内容 食事の支度、買物代行、衣類の洗濯、室内の清掃、
おむつ交換、入浴の補助、通院等の付き添い等

●利用料金 1時間あたり500円（非課税世帯等は減免有）

●利用上限時間 年間40時間（多胎児については80時間）

●事業開始予定 令和5年8月

●無料券の配布 最大10時間分（妊婦8時間分、0歳児2時間分）

※無料券配布対象は「マイサポートスペース」に登録した妊婦及び
0歳児がいる家庭



(3) 出産・子育て応援交付金事業 伴走型相談支援及び経済的支援の一体的実施

●予算額 3億2,083万2千円

伴走型相談支援

●面談実施時期

- ①妊娠届出時
- ②妊娠8か月頃(希望者のみ)
- ③出産後の乳児家庭全戸訪問時

●面談対象者

・妊婦・産婦

●面談内容

・面談実施時のアンケートや子育てガイドを確認しながら、出産・子育て等の見通しを立て、必要な支援等につなぎます。

一体で
実施

経済的支援

●支給金額

- ①妊婦一人当たり5万円
- ②子ども一人当たり5万円

●支給時期

- ①出産応援交付金
⇒妊娠届出時の面談実施後
- ②子育て応援交付金
⇒出産後の乳児家庭全戸訪問時の面談実施後

●支給方法

・面談実施後に申請に基づき現金を支給

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり
(2) 給食費の負担軽減

令和5年度予算額：3億5,852万1千円

[会計別予算案 P164
P165]



(1) コロナ禍における学校給食の食材料価格高騰相当分を市が負担

(学校財務課学校給食担当室 ☎047-366-7463)

- 目的 ▶令和4年度に引き続き、コロナ禍等における物価高騰等を背景とした食材料の価格高騰に対応するため、食材料価格高騰相当分を市が負担し、栄養バランスのとれた献立内容、安全安心かつ安定的な給食供給を維持させる。
▶コロナ禍においては、食材料価格高騰相当分を市が負担することにより、保護者負担を増すことなく現状を維持させる。
- 内容 ▶物価高騰に伴う市立小学校・中学校給食の賄材料費の上乗せ対応
▶児童・生徒に提供する学校給食に係る食材料の価格高騰相当分を市が負担
(教職員等は自己負担)
- 実施期間 令和5年4月から令和6年3月まで
- 予算額 **①歳出 給食賄材料費 3億3,291万9千円**
【内訳】小学校 2億3,614万6千円(うち教職員等分 1,887万円)
中学校 9,677万3千円(うち教職員等分 673万2千円)
②歳入 教職員等給食費負担金 2,560万2千円
【内訳】小学校 1,887万円
中学校 673万2千円

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり
(2) 給食費の負担軽減

令和5年度予算額：3億5,455万5千円

[会計別予算案 P164
P165]



(2) 【松戸版】学校給食費の無償化（第2子半額、第3子以降全額）

(学校財務課学校給食担当室 ☎047-366-7463)

- 目的 令和4年度に引き続き、多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、学校給食費の無償化を実施する。
- 対象 2人以上の子を扶養する世帯において、被扶養者である子のうち、
○年齢が上から2番目の子……学校給食費の半額【松戸市独自】
○年齢が上から3番目以降の子…学校給食費の全額【県補助金*を活用】
(松戸市立小学校・中学校在籍者に限る)
- 実施期間 令和5年4月から令和6年3月まで
- 予算額 **①歳出 942万3千円(事務費)**
②歳入 ▲3億4,513万2千円
【内訳】(1) 学校給食費負担金…… ▲4億5,775万2千円(児童・生徒分)
(2) 県補助金…………… 1億1,262万円

※県補助金とは、「第3子以降」の学校給食費無償化のため、千葉県が市町村向けに実施する補助金交付事業(負担割合:県1/2、市1/2)

①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり
 (2) 給食費の負担軽減

令和5年度予算額：1億7,661万6千円

[会計別予算案 P60、63、
64、73、78]



(3) 多子世帯の保育施設等給食費の負担軽減を図ります

(保育課 ☎047-366-7351 幼児教育課 ☎047-701-5126

健康福祉会館 ☎047-383-0022)

多子世帯の経済的な負担の軽減を図るため、給食費を第2子半額・第3子以降無償化します。

● 予算額【歳入】 保育課 保育所利用者給食費負担金収入 ▲2,082万円
 健康福祉会館 こども発達センター利用者給食費負担金収入 ▲27万9千円

【歳出】 保育課 民間保育所運営支援業務他 4,679万3千円
 幼児教育課 幼児教育支援業務 1億872万4千円

● 実施時期 令和5年4月

● 実施内容

- ・ 保育施設等 第2子半額 新規、多子計算の年齢制限はなし（生計を一にする子）
- 第3子以降無償化 現行の多子計算の年齢制限を小学校3年生から年齢制限なし（生計を一にする子）へ拡大

・ 幼稚園・認可外保育施設

第2子月額2,500円、第3子以降月額5,000円を給付(公立保育所の給食費相当)
 新規、多子計算の年齢制限なし（生計を一にする子）



①子育て・教育・文化を軸とした都市ブランドづくり

(3) 3×3コートの整備、スケートボードパーク設計のほか、
新たなニーズを踏まえスポーツ施設整備の方向性等を検討アーバンスポーツ（3×3、スケートボード等）の環境整備、
新たなニーズを踏まえたスポーツ施設整備の方向性の検討

(スポーツ課 ☎047-703-0601 社会教育課 ☎047-342-9930)

若者世代を中心とした、アーバンスポーツ需要の高まりを受け、青少年施設や既存スポーツ施設を活用し、3×3のバスケットボールコートやスケートボード場を整備します。

また、多様なニーズを踏まえ、今後のスポーツ施設整備の方向性について調査検討を進めます。

①アーバンスポーツ施設整備

- 青少年会館3×3コート改修工事 3,000万円
- 青少年会館子どもの見回り見守り業務 65万2千円
- スケートボードパーク新設に伴う設計委託 250万円

②既存スポーツ施設整備の方向性検討

- スポーツ施設整備調査業務委託 700万円



■施設の一例（3×3コート）

② 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

(1) グリーンスローモビリティの導入地域を拡大

令和5年度予算額：4,957万1千円

[会計別予算案 P34]

小さな移動で、地域に大きな波及効果をもたらしているグリスロを拡充

(地域包括ケア推進課地域支援担当室 ☎ 047-702-3652)

◆グリーンスローモビリティ (略称：グリスロ) 導入状況

導入地域 ①河原塚地域 (4自治会：約0.82km²) 8人乗 河原塚グリスロ運営委員会
②小金原地区 (18町会：約3.24km²) 10人乗 小金原地区会
運用状況 (高齢者の買い物・社会参加等) ⇒ (地域特性に応じた自主的な取組)



買い物



グランド・ゴルフの送迎



おやこDE広場の送迎



イベント活用



青パト (防犯)

(地域の声)

- 地域にグリスロが来たので免許を返納した
- 同乗した人と顔見知りになれ、情報交換ができる
- ドライバーが顔見知りなので安心、買い物の荷物を運んでくれたり、気配りしてくれる
- 多機能なので様々な場面に活用できる
- 地域のために貢献してくれてる運営者に寄附等がしたい

<新年度>

- ①車両の安全性、利用者の利便性を向上させ、公募で必要な地域に新たに車両を3台!
- ②利用者の利便性を向上させるために、予約システムの構築!
- ③さらに、よりきめ細やかな小さな移動ができるように超小型モビリティの実証調査を実施

②誰もがいきいきと暮らせるまちづくり (2) 高齢者の生活を支援する体制の強化

令和5年度予算額：7,323万円

[会計別予算案 P31]



新たに就労的活動支援コーディネーターの導入に伴い、地域の生活を支える コーディネータの再構築

(地域包括ケア推進課地域支援担当室 ☎ 047-702-3652)

高齢者の社会参加を促進するために就労的活動支援コーディネーターを導入することに伴い、地域と連携し、高齢者の日常生活支援を行っている生活支援コーディネーターとオレンジコーディネーターの3つの機能を併せ持つ多機能コーディネーターを地域包括支援センターに専任で配置する。

●予算額 7,323万円
コーディネーター業務委託費(人件費+その他経費)×15名

(3つのコーディネーター機能)

就労的活動支援コーディネーター

高齢者の特性等に応じた就労的活動を事業者等とマッチングし、高齢者の社会参加を促進する

(新規)

生活支援コーディネーター

地域における一体的な生活支援サービス等の提供体制の整備の推進

オレンジコーディネーター

医療・介護等の連携強化などによる、地域における認知症の人と家族への支援体制の構築と認知症ケアの向上を図る

(認知症地域支援推進員)

3つの機能を持ち合わせる専任の多機能コーディネーターが地域と連携し、生活しやすい環境づくりを推進する

医療的ケア児等が地域で安心して生活できるよう、医療的ケア児等の支援体制の充実

①・②障害福祉課 ☎047-366-7348、③保育課 ☎047-366-7351)

医療的ケア児に対しては、保育所等での受け入れ体制を整備する費用を補助し、医療的ケアの加算がない日中一時支援事業所に対して、地域生活支援給付費として松戸市独自の「医療的ケア体制加算」を創設します。

①日中一時支援事業所における医療的ケア加算の創設

日中一時支援事業所で医療的ケアに従事する看護師を配置した場合の報酬加算がないため、地域生活支援給付費として新たに加算を創設する。

●予算額 183万2千円
(参考)

地域生活支援給付費
899単位/日加算
※1単位=10.16円

②医療的ケア児喀痰吸引等研修費補助金(拡大)

不特定者の医療的ケアを実施できる第一号・第二号研修に加え、特定の者にのみ医療的ケアを実施できる第三号研修を補助金対象とすることにより、喀痰吸引等行為を行える障害通所施設等の職員の増加を促す。

●予算額 135万6千円

③入所申込みにおける先行入所調整

入所調整に当たり「医療的ケア児及び障害児先行申込」を実施し、保育施設における医療的ケア児の受け入れ体制を整備することで、さらなる入所促進を図る。

●予算額 5,785万8千円
(内訳)

看護師等設置補助金 4,232万円
一時預かり事業補助金 360万円
施設改修費補助金 205万8千円
その他補助金合計 988万円

③居心地の良い魅力的なまちづくり
 (1) 新拠点ゾーンのまちづくり

令和5年度予算額:7億4,279万3千円

[会計別予算案 P128
 P190]



相模台地区土地区画整理事業を実施

(松戸駅周辺整備振興課 ☎047-366-7086)

相模台の官舎跡地や松戸中央公園等の国有地を活用し、道路等の公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、賑わい交流拠点の形成を行うことを目的として土地区画整理事業を実施します。

●相模台地区土地区画整理事業 (特別会計)

4億5,661万円

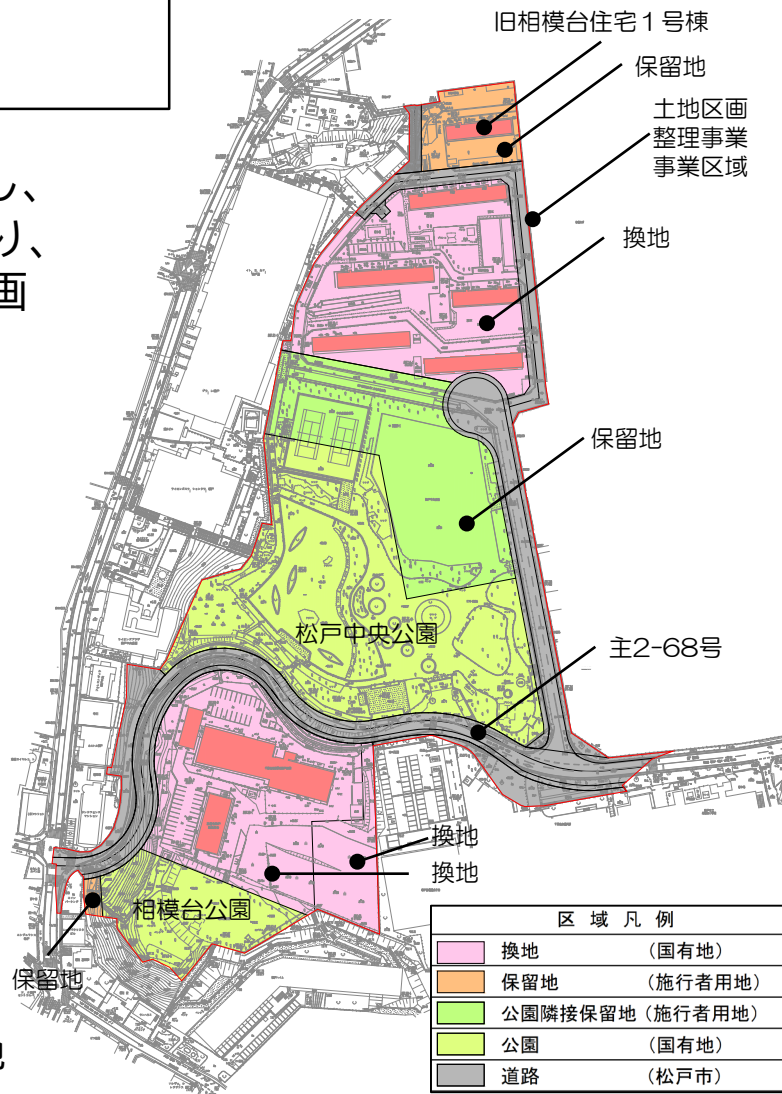
旧相模台住宅1号棟撤去費等 5,814万6千円、
 南側保留地整備の造成及び擁壁築造費 2億2,000万円他

●まちづくり基本構想推進業務

2億8,618万3千円

主2-68号拡張のための造成及び擁壁設計 1,000万円、
 国道6号交差点改良の詳細設計等 1,991万円他

計画図



③居心地の良い魅力的なまちづくり (2) 新松戸駅東側地区のまちづくり

令和5年度予算額:9億6,172万8千円

[会計別予算案
P131、132、189]

80th Anniversary
1943-2023
matsudo

新松戸駅東側のまちづくりを推進

(街づくり課 区画整理担当室 ☎047-366-7375)

新松戸駅東側地区について、健全な市街地の形成と地区の課題である狭あい道路の解消、駅前広場や下水道・斜面緑地の整備などを目的として、市施行による土地区画整理事業を推進するために必要な設計等を行います。

また、3・4・18号馬橋根木内線街路整備工事を引き続き実施するとともに、常磐線快速列車の新松戸駅停車に係る調査を行います。



●新松戸駅東側地区土地区画整理事業 (特別会計)
換地設計等業務、土木実施設計等 2億6,302万2千円

●3・4・18号線街路整備
道路築造工事・工事監理業務委託等 6億7,570万6千円

●常磐線快速停車
常磐線快速列車新松戸駅停車調査 2,300万円

③居心地の良い魅力的なまちづくり

(3) 常盤平地域、北小金駅周辺のまちづくりを検討

令和5年度予算額:2,235万2千円

[会計別予算案 P127
P128]



常盤平地域のまちづくりを検討します

(街づくり課 ☎047-366-7376)

常盤平・五香松飛台地域は、地域内の拠点駅周辺において昭和30～40年代に大規模な土地区画整理事業により整備された区域等を多く含み、建物の高経年化や人口減少・高齢化といった課題が顕著になっています。

このため、改めて当該地域の特性を考慮しつつ、具体的なまちの再生方針を検討します。

●常盤平地域まちづくり検討業務

現状及び課題の整理、まちづくり方針の検討等 1,387万1千円

北小金駅周辺地区の都市再生整備計画（案）を検討します

(街づくり課 ☎047-366-7376)

北小金駅周辺地区では、北口の基盤整備の遅れや駅前のまちなみの更新が進んでおらず、また、東漸寺や本土寺などの歴史資源が地域の魅力づくりに十分活かされていません。

このため、駅周辺地区の賑わいを創出し、魅力あるまちづくりを推進するため、都市再生整備計画の策定を目指します。

●北小金駅周辺都市再生整備計画策定業務

対象事業の検討、都市再生整備計画（案）の作成等 848万1千円

④地域経済が活力にあふれ、自分らしく働けるまちづくり
 (1) 松戸駅を中心としたにぎわいを創出するイベント開催の拡大

松戸駅周辺の更なるにぎわいを創出するため、
 松戸にぎわいフェスタの実施及び定期的なイベントを開催

(にぎわい創造課 ☎047-366-7327)

○松戸にぎわいフェスタ

松戸駅周辺のにぎわい創出、回遊性促進を目的とし、複数の公共空間を活用した同日開催イベントを実施。

- ・開催日 令和5年11月3日(金・祝)
- ・開催地 松戸駅西口デッキ・東口デッキ、西口公園、春雨橋親水広場 等
- ・内容 ステージイベント、マルシェ、商店会による飲食販売 等



○定期的なイベントの開催

松戸駅周辺商店会、町会等と市が連携し、公共空間等を活用したイベントを年6回実施することで、定期的に来街者を増やし、松戸駅周辺の活性化を図ります。

- ・開催日 年6回
- ・開催地 東口コミュニティロード、ふれあい通り、西口公園 等
- ・内容 歩行者天国イベント、マルシェ等



⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

(1) 子どもの見守り・安全安心の体制の強化

令和5年度予算額:7,382万円

[会計別予算案 P16]



防犯カメラを設置し、子どもを見守り、事件・事故を未然に防ぎます

(市民安全課 ☎047-366-7285)

子どもが保護者の目から離れやすい場所（公園、塾など）周辺を中心に防犯カメラを20台増設します。

●予算額 7,382万円

【内訳】○市設置型防犯カメラ設置工事（新規20台、更新4台）	2,638万9千円
○市民参加型防犯カメラ設置補助金（個人20台、企業3台）	660万円
○電気使用料、ネット利用料、修繕料、機械類保守点検他	4,083万1千円



【電柱看板】

【市内概要防犯カメラ設置状況】

(令和5年3月末予定)

市設置型防犯カメラ	・・・	271台
市民参加型防犯カメラ	・・・	292台

⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

(1) 子どもの見守り・安全安心の体制の強化

令和5年度予算額:977万1千円

[会計別予算案 P164]



～子どもと保護者のさらなる安全安心の確保～ GPS端末購入時の初期費用を補助

(学校保健担当室 ☎047-366-7459)

- 目的 これまでも子どもの安全安心確保のために、「地域の方々による見守り活動」、「防犯カメラの整備」、「新入学1年生への防犯ブザー無償配付」など、市全体で様々な取り組みをしておりますが、さらなる安全対策として令和5年1月よりGPS端末購入支援事業を開始しました。令和5年度も引き続き、日常生活及び登下校時の児童の安全確保向上と保護者の負担軽減を図って参ります。
- 内容 GPS端末購入時の初期費用を補助(上限1万円)する ※初期費用:端末購入費、初期登録手数料等
※1児童につき1端末分の助成を限度とする
- 対象者 松戸市在住の全小学生の保護者 ※全小学生人数:2万3,100名 (参考)
- 実施期間 令和5年4月～令和6年3月
- 予算額 977万1千円
 - 【内訳】 ○補助金 960万円(対象児童 新小学1年生～新小学6年生)
 - ・上限1万円×383名(新小学1年生全体の10%)=383万円
 - ・上限1万円×577名(新小学2年生～新小学6年生全体の3%)=577万円
 - 通信費 8万640円(申請書審査後決定通知書郵送代) 84円×960通分
 - 印刷製本費 9万円(啓発チラシ作成費用) 8,500枚作成分

⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

(1) 子どもの見守り・安全安心の体制の強化

令和5年度予算額:5,500万円

[会計別予算案 P132]



安心して子どもが遊ぶことができるよう市内各公園・緑地の草刈りを年間2回増やします

(公園緑地課 ☎047-366-7380)

より安心して子どもたちが公園で遊ぶことができるよう、年間を通して公園の内外からの見通しを良くするため、現在2回程度実施している公園・緑地草刈りを、さらに2回分多く実施します。

- 予算額 5,500万円
- 草刈場所 市内393公園、緑地約74万㎡
- 草刈回数 年間2回程度 → 年間4回程度

草刈り前



草刈り後



⑤安全で安心して暮らせるまちづくり

(1) 子どもの見守り・安全安心の体制の強化

令和5年度予算額:2,252万6千円

[会計別予算案 P15]



松戸駅を安心して歩けるよう、客引き対策を強化します

(市民安全課 ☎047-366-7285)

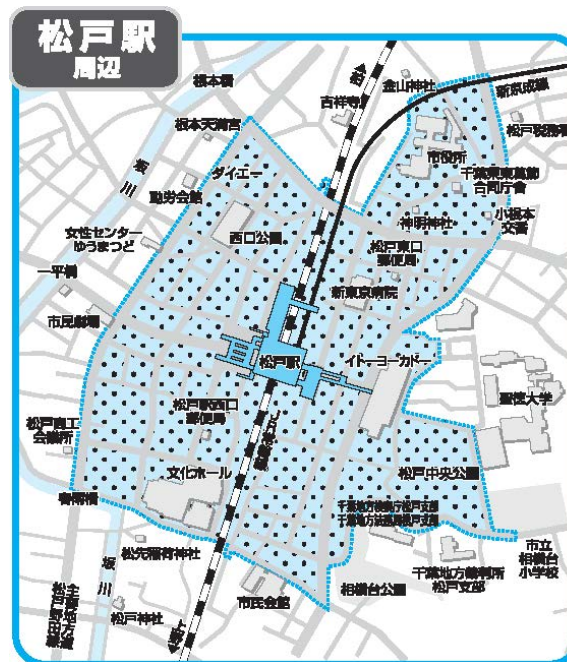
客引き行為等をさせない指導・監視・見守り体制を確立するため、現在2人体制で行っている松戸駅の客引き対策を、客引き行為等指導員4人、客引き対策専従の警備員4人の8人体制で実施し、市民が安心して松戸駅を利用できる環境を構築する。

●予算額 2,252万6千円

松戸駅西口のエスカレーターを降りた地点を重点強化

夜間は常に指導員か警備員もしくはその両方が客引き対策にあたる。

【客引き行為等禁止特定地区】



客引き

通行人など不特定の者の中から相手方を特定し、客とするために言語又は動作によって積極的に誘う行為

客待ち

客引きをする目的で、公衆の目に触れるような場所で、うろついたり、とどまったりする行為

勧誘

通行人など不特定の者の中から相手方を特定し、一定の労力やサービスに従事するよう誘い込む行為

勧誘待ち

勧誘をする目的で、公衆の目に触れるような場所で、うろついたり、とどまったりする行為

⑥人と環境にやさしいまちづくり

(1) 自治体SDGsモデル事業の実施

令和5年度予算額:1,128万6千円

[会計別予算案 P14]



常盤平団地エリアのり・ブランディングの推進

(政策推進課 市政総合研究室 ☎047-704-4006)

令和4年度の内閣府による「SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業」の選定を受け、Z世代の活躍と産学官民連携による常盤平団地エリアのり・ブランディング「まつどSDGsキャラバン」を推進する。

○Z世代による事業推進 198万6千円

市内4大学の大学生を中心に、「まつどSDGsキャラバン」への参画を呼びかけ、常盤平団地エリアの魅力向上に向けた実証実験とSDGs普及啓発活動を推進する。

●Z世代の常盤平団地への入居促進 50万円 (新規事業)

新たに常盤平団地に住むことを希望する学生に対し「まつどSDGsキャラバン」への参加を条件に、引越費用を補助する。

○まつどSDGsキャラバン推進会議の実施 13万4千円

事業の実施にあたり、ステークホルダーとの情報共有及び産学官民連携を推進する。

○ウェルネストラック開発調査研究委託 750万円

常盤平団地エリアで、ウォーキングコース、屋外サイン、WEBコンテンツが一体化した健康プログラムを開発し、地域の魅力の発信と住民への健康促進を図る。

●SDGs推進に向けた象徴的なグッズの作成・配布 116万6千円 (新規事業)

通常廃棄している梨の剪定枝を活用したグッズを作成し「まつどSDGsキャラバン」の象徴的なグッズとして、Z世代とともに、農産物PRや環境負荷軽減を推進する。

常盤平団地エリアのR・ブランディングの推進について

令和4年度

令和5年度

〇Z世代による事業推進

- ・市内大学生が学生研究員として計27名事業へ参画
- ・SDGsロゴの作成や常盤平の魅力向上アクションプランの提案などを実施
- ・令和5年2月17日(金) 17:00～「市内大学生によるSDGsフォーラム」を開催し、アクションプランの発表



松戸市内の大学生による
まつどSDGsフォーラム
～大学生と考える持続可能なまちづくり～

松戸市では、令和4年に「SDGs推進都市」に認定されたことを契機とし、SDGsの普及啓発に関する様々な取り組みを「まつどSDGsキャラバン」として推進しています。この「まつどSDGsキャラバン」の一環として、松戸市内の大学生が松戸市の常盤平団地のまちづくりについて考えました。

今回のフォーラムではその結果として、大学生が考えた常盤平団地におけるまちづくりのアクションプランの発表を行います。みなさんも大学生と一緒に松戸市における持続可能なまちづくりについて考えてみましょう。

日時 2023年 2月17日(金) 17:00～19:00

会場 流通経済大学 新松戸キャンパス講堂
(松戸市新松戸3丁目-1 「新松戸」駅下車徒歩3分)
※オンラインでの後日配信も予定

申込方法 申込期限：2月10日(金)
右記QRコードから申込可能です

お問い合わせ sdgs@mirainolab.co.jp

参加無料

内容

- 1.松戸市内の大学生による発表
大学生が常盤平団地の持続可能なまちづくりについて発表を行います。
- 2.パネルディスカッション
ゲストをお招きし、大学生のアクションプランについてディスカッションを行います。

ゲスト

主催：松戸市 / 株式会社ミライノラボ
協賛：松戸市常盤平団地管理組合、松戸市常盤平団地自治会、松戸市常盤平団地自治会、松戸市常盤平団地自治会、松戸市常盤平団地自治会



←まつどSDGsのPRロゴ

まつどSDGsフォーラム→

〇まつどSDGsキャラバン推進会議

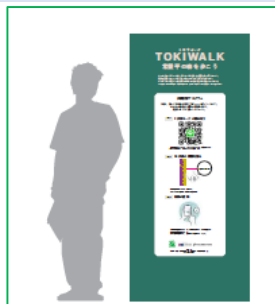
- ・令和4年10月に設置し、年5回開催予定
- ・構成員：UR都市再生機構、常盤平団地自治会、市内4大学、新京成電鉄(株)、(株)ミライノラボ、学生研究員、松戸市

〇ウェルネストラック開発調査研究委託

- ・ウェルネストラック(ウォーキングコース、屋外サイン、WEBコンテンツが一体化した健康プログラム)「TOKIWALK」を開発(一部設置)



↑プログラム名称



↑屋外サインのイメージ

〇Z世代による事業推進

- ・市内4大学を中心に、事業へ参画する学生を増やす
- ・令和4年度に提案があった魅力向上策について、実証実験とSDGs普及啓発活動を推進する。
- ・SDGsの普及啓発活動についても、Z世代の視点やネットワークを活かした発信を継続する。



事業への参画促進

〇Z世代の常盤平団地への入居促進 **NEW**

- ・キャラバン推進会議等での意見等を経て、新たに創設。大学生の事業参画と、団地への入居を促していく。

〇まつどSDGsキャラバン推進会議

- ・令和5年度も継続開催し、常盤平団地エリアで展開する事業について、ステークホルダーとの情報共有や事業連携を促す。

〇ウェルネストラック開発調査研究委託

- ・屋外サインの設置(全17か所)を進めるとともに、WEBコンテンツと連動して、地域の魅力を発信していく。



屋外サインに記載されたQRコードを読み込むとLINEにつながる。LINEの友達登録することで、トーク画面等で、地域のイベント情報や地域の魅力を配信する。

〇SDGs推進の象徴的なグッズの作成・配布 **NEW**

- ・通常廃棄している梨の剪定枝を活用したグッズを作成しZ世代とともに、農産物PRや環境負荷軽減を推進する。

⑥人と環境にやさしいまちづくり

(2) 市民と共に取り組む脱炭素社会に向けた取り組み

令和5年度予算額:1,295万7千円

[会計別予算案 P97
P98]



市民及び事業者等で構成する市民会議を開催するとともに、省エネルギー設備などの導入への補助を行います

(環境政策課 ☎ 047-366-7089)

近年、台風などの大規模災害の増加、極端な猛暑等の増加など、地球温暖化の進展による影響が年々深刻化しています。このような中で、ゼロカーボンシティ宣言を行っている本市も脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進するため、温暖化対策についての市民会議を開催すると共に、省エネルギー設備などを導入する市民に対して補助を実施します。



市民会議の開催



今後の取り組みに活用

●低炭素社会創造事業 719万6千円

主に無作為抽出により選定した市民による地球温暖化対策に係る市民会議を開催します。会議では市民の話し合いをもとに、地域課題などを整理して、今後の取り組みに活かします。

なお、学生や事業者からの意見を聴く場も設ける予定です。

●エネルギー対策事業 576万1千円

集合住宅の共用部のLED照明の改修等に補助を実施することにより、市民、事業者の省エネの取り組みを推進します。

⑦市制施行80周年記念関連

(1) 市制施行80周年記念事業の開催

令和5年度予算額:1億6,556万5千円

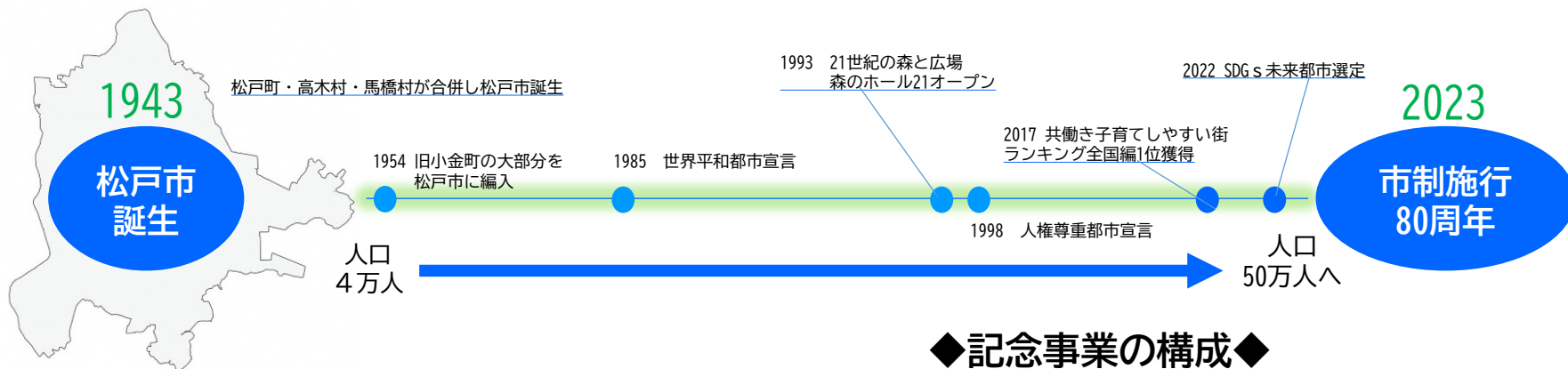
[会計別予算案 P169]



市制施行80周年を祝う記念事業の取り組み

(秘書課 ☎ 047-366-7303)

松戸市は、昭和18年4月1日に市制施行し、令和5年に80周年を迎えます。
この節目を祝うため、様々な記念事業を行います。



◆記念事業の構成◆

◆記念事業の基本方針

市民の皆様が80周年記念行事を様々な展開できるよう、市制施行80周年を広くお知らせし、市民企画行事の応援を行う。また、市民一人ひとりがこれまでの松戸の歴史を振り返り、「ふるさと松戸」への愛着心を醸成できるよう取り組む。

①冠事業

市民企画行事の応援を行い市民と共に80周年を祝う

- ・啓発費用 39万5千円
- ・記念品 102万1千円

②歴史の振り返り事業

- ・パンフレット作成 90万2千円
- ・旧松戸町役場案内板作製・設置 49万5千円

③感謝状贈呈事業

市政功労者の皆様に感謝を伝える
※時期調整中

77万1千円

④恒例行事の拡大等

80周年を記念し、恒例行事の拡大を行う
※会計別予算案P169ページ参照

⑦市制施行80周年記念関連

(2) 科学と芸術の丘、松戸花火大会、アートピクニックの開催

[会計別予算案
P169]



80周年を記念して規模を拡大した芸術祭と県内最大級の花火大会を開催

(①②にぎわい創造課 ☎047-366-7327、③21世紀の森と広場管理事務所 ☎047-345-8900)

①市制施行80周年・県誕生150周年記念 科学・芸術・自然をつなぐ国際フェスティバル 科学と芸術の丘2023

負担金 3,500万円 (内補助金：文化庁
1,750万円、県150周年850万円)

科学・芸術・自然をテーマとして最先端アート
に触れる芸術祭を開催

- ・開催日 令和5年10月(予定)
- ・開催地 松戸駅・新松戸駅・八柱駅周辺
エリア
- ・拡大内容 市内各地での展示・ワーク
ショップを実施、
開催期間を9日間→2週間に拡大



②市制施行80周年・県誕生150周年記念 松戸花火大会イン2023

負担金 6,780万円
(内補助金：県150周年1,000万円)

市及び県の周年記念としての花火大会の
開催

- ・開催日 令和5年8月5日(土)
- ・開催地 古ヶ崎河川敷スポーツ広場
- ・拡大内容 打上発数2.5万発(県内最
大級)、周年記念ステー
ジイベント開催、市内事業者
による飲食物販売(屋台村)



③市制施行80周年・県誕生150周年記念 アートピクニック2023

負担金 300万円
(内補助金：県150周年150万円)

豊かな自然環境を舞台に、現代アートに
触れる芸術祭を開催

- ・開催日 令和5年11月(予定)
- ・開催地 21世紀の森と広場
- ・拡大内容 出展者数・作品展示数・
ワークショップ実施回数増、
開催期間2週間→3週間
に拡大



※文化庁および千葉県誕生150周年記念事業補助金を活用します

⑧新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種、 PCR検査・抗原検査キット費用助成

令和5年度予算額:25億3,145万5千円

[会計別予算案 P80
P96]



新型コロナウイルスワクチン接種

(新型コロナウイルスワクチン接種担当室
☎047-366-7327)

PCR検査・抗原検査キット費用助成

(地域医療課 ☎047-366-7771)

●予算額 23億594万8千円

重症者を減らすことを第一の目的に、対象者となる市民の9割の方が年に1回接種できる体制整備を行います。

- ・対象者 12歳以上
小児(5歳~11歳)
乳幼児(生後6カ月~4歳)
- ・実施会場 個別医療機関
集団接種会場
- ・接種費用 公費(国費)負担

●予算額 2億2,550万7千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を未然に防止するため、令和5年度においても当面の間、PCR検査・抗原検査キット購入に対する費用助成を行います。

- ・松戸市民PCR検査費用助成
1億4,076万3千円
- ・高齢者施設等従事者PCR検査費用補助
3,000万円
- ・抗原検査キット購入費用助成
5,474万4千円